

# 山下助役島根県へ復帰・退任 副町長に和泉一朗氏が就任

奥出雲町初代助役として新町の行財政各般にわたり御尽力頂きました元助役山下博徳氏が島根県に復帰されることとなり、又地方自治法の一部改正により、助役・収入役制を改め、副町長制に移行することとなりました。これに伴い、三月に開会された奥出雲町議会定例会において、議会の同意を得て副町長に元奥出雲町収入役の和泉一朗氏を選任しました。

## 退任の挨拶



山下 博徳

この度、三月末日をもって奥出雲町の助役を退任いたしました。

平成十七年六月に就任して以来、微力ではありましたが、合併後の新町の山積する諸課題への対応や円滑な行政運営の実施に力を尽くして参りました。

この間、議会をはじめとし

て、町内の関係諸団体や町民の皆様には、大きなご支援を頂き、厚くお礼を申し上げます。

また、在任中には記録的な豪雪や水害による甚大な被害が発生し、その復旧対策にも当ってまいりました。

その節には、多くの関係者の皆様のご協力を賜りましたことについて深く感謝を申し上げます。

現下の地方自治体の行財政を取り巻く環境は、国・地方を通ずる債務の解消が最優先課題とされ、歳出の抑制や行政改革の不断の推進など、極めて厳しい状況下であり、こ

れに伴う様々な痛みや既存制度の見直しが求められております。

もはや、高い経済成長が期待できない時代となり、自らの地域は自らの創意と工夫で守っていかねければならない、自立と改革の時代に入っているとしております。

奥出雲町は、基幹産業である農林業の生産基盤が確立しており、全国的に評価の高い農畜産ブランド品も開発され、また優れた観光資源も数多くあり、地域振興を実現する潜在的な力の源泉に恵まれている町であります。

これからは、地域の活性化を支える人材を育成し、行政、民間、関係機関、町民が相互に連携を強め、真に「心豊かで潤いと活力のある町」づくりにも邁進されることを期待するものであります。

最後に、奥出雲町の限りない発展と関係各位のご健勝を心より祈念し、退任のご挨拶といたします。

## 就任の挨拶



和泉 一朗

山下助役様の島根県へのご復帰と地方自治法の改正とが相俟って、去る三月の奥出雲町議会において新設の副町長に選任され、四月一日付をもちまして就任いたしました。

ご承知のとおり行政経験のないまま収入役を務めさせて頂きましたが、県内町村で有数の予算規模と広い行政区域、はたまた数多くの関連行事等に圧倒されながらの二年弱であったように思います。

さて、我国の経済は上海発の世界株式連鎖でもわかるとおり、いやおうなしにグローバル化の中にあります。

戦後最長となった今回の景気拡大の影響は、一部の都市部の好感感とは裏腹に地方の大部分、とりわけ過疎化の進む中山間地への波及はほとん

どないのが現状といえましよう。

このような中、自治体は国からの自立を迫られ経営改革が不可欠なものとなって参りました。

自立で問題点を把握し、対策を練り、期限を設定し、それに向け行動を起こさなければなりません。

まさに緊張感をもった行政対応が要求されております。

幸い、行政経験豊富で且つ企業会計を熟知されている岩田町長のもとでの業務の遂行が出来ますことは、大役をお任せつかった身には心強い限りであります。

町民の皆様には行財政改革に伴う痛みの部分も多少なりとも出てくるかもしれませんが、将来に向け「心豊かで潤いと活力のある町」づくりのために、町民も議会も町も一丸となって立ち向かわなければなりません。

どうぞ格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。